

『舌圧と嚥下調整食および栄養評価指標との 関連性の検討』

【目的】舌圧は、食塊を形成し咽頭から食道へ食べ物を送り込む時に必要な舌の力です。舌圧が低下すると、十分な食事量が摂取できなくなります。食事摂取量の不足による低栄養を予防するためには、舌機能に合わせた食事を選択することが大切です。この選択手段として舌圧と嚥下調整食および栄養評価指標との関連性を検討します。

【期間】2023年11月8日～2024年3月15日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2022年6月1日～2023年3月15日までに当院でNST介入があり、摂食嚥下障害がある患者さん

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：無し

情報：年齢、性別、診断名、既往歴、BMI（身長、体重）、舌圧、血液生化学検査結果、改訂水飲みテスト、食種、摂取エネルギー、FIM等

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 栄養管理室 ・副栄養管理室長

研究責任者 東 由里